

# 1 この科目の構成について (改行は Alt + Enter)

教科	数学	科目	数学Ⅱ	単位	3 単位
対象コース	情報ビジネス	コース	対象クラス	3 年	4 組
使用教科書	新編数学Ⅱ (第一学習社)				
使用副教材	実用数学セミナー (浜島書店) ネオパル数学Ⅱ				

# 2 この科目の目標・学習内容・学習方法について (改行は Alt + Enter)

<b>学習目標</b> ：この科目を学習して何を身につけてほしいのか ・基本事項を復習し、実戦問題に応用するための土台作りをする。 ・就職試験の問題に対して、速く、正確に解ける力を身につける。
<b>学習内容</b> ：この科目で学習する大まかな内容 ・就職試験における問題演習と対策 ・複素数と方程式，図形と方程式，三角関数，指数関数・対数関数，微分と積分
<b>学習方法</b> ：この科目を学校と家庭でどのように学習すればよいのか (1) 学校 授業では例題を解説します。よく聞いて、演習問題に取り組んでください。  (2) 家庭 演習問題の予習・復習をしてください。予習して、難しいと思うところがあれば授業中に質問してください。授業中に解ききれなかった問題があれば、家庭で解いてください。

# 3 この科目の評価方法について (改行は Alt + Enter)

<b>評価方法</b> ：何を使って評価するのか (1) 定期考査・・・年4回、授業での学習内容、授業プリントから出題する。 (2) 小テスト・・・必要に応じて単元確認テストを行う。 (3) 副教材提出・・・適宜副教材を回収・点検し、平常点に加える。 (4) 学期中の課題・・・長期休業中には宿題を課します。
<b>評価における定期考査の割合</b> 60 %

# 4 この科目の評価の観点について (改行は Alt + Enter)

<b>評価の観点</b> ：この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか (1) 関心・意欲・態度 各分野の考え方に関心を持ち、意欲的に取り組んでいるかは、授業への出席状況・授業へ取り組む姿勢・課題の提出状況をみます。 (2) 思考・判断 授業の各分野において、単に計算ができるだけでなく、より効率的な解法はどのようなものがあるかを考えているかをみます。 (3) 技能・表現 答案作りについて論理的かどうか、また各分野において、各事象を数学的に考察し、表現・処理する仕方や推論の方法を身につけ、適確に問題が解けているかどうかをみます。 (4) 知識・理解 各分野の定理・法則・用語を理解し、基礎的知識が身に付いているかは、定期考査をみます。
---





【SDGsの各ターゲットについて】

ちょっとだけ詳しく内容を知りたい方は、アイコンをクリック



【道徳教育について】

高校の道徳教育についてちょっとだけ知りたい方は  
アイコンをクリック



※FSVに接続してる場合のみ

下のアイコンは、該当する「学習の内容」の場所に  
コピーしてご使用下さい

### SDGsターゲットアイコン



### 道徳教育アイコン



下のアイコンは、該当する「学習の内容」の場所に  
コピーして下さい

### SDGsターゲットアイコン



### 道徳教育アイコン

